

大腿骨頸部・転子部骨折に関する 患者さんの情報の研究利用について のお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター麻酔科では、「中等度以上の大動脈弁狭窄症患者における、大腿骨頸部・転子部骨折の予後調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、大腿骨頸部・転子部骨折の手術後の結果を調べて、中等度以上の大動脈弁狭窄症がある方とない方とで経過にどのような違いがあるかを調べるものです。

この研究のため、2020年9月1日より2024年9月30日までに治療した方の診療録、手術記録、検査データの調査を行います。対象となるのは大腿骨頸部・転子部骨折に対し手術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（術前検査結果、入院期間、ICU入室期間など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年12月

研究責任者

東京医療センター 麻酔科

田中 浩平

連絡先 03-3411-0111(代表)